



# 国際ロータリー第2790地区

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH



## 千葉南ロータリークラブ会報

〔創立〕1964年3月2日

〔例会日〕毎・金曜日12時30分

〔例会場〕オークラ千葉ホテル

〔会長〕斎藤 昌雄

〔幹事〕植松 省自

〔会報委員長〕永安 重治

〔事務局〕〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

### 第2443回

平成26年3月14日(金) 点鐘12:30 <曇り>

◇ロータリーソング『我等の生業』

◇四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

#### ◆お客様紹介

- ・本日のゲストスピーカー／  
JFEスチール(株)東日本製鉄所(千葉地区)  
総務部長 岩山 眞士様
- ・JFEスチール(株)東日本製鉄所(千葉地区)  
総務部総務室 主任部員(副課長) 和崎 正二様
- ・市原RC／白鳥 政孝様(パストガバナー)
- ・千葉北RC／石井 七郎様(第3分区Bガバナー補佐)

#### ◆会長挨拶及び報告 斎藤 昌雄会長

本日、お越しいただきました白鳥パストガバナーの市原ロータリークラブも今年50周年を迎えられますが、千葉南ロータリークラブが先陣を切らせていただきますので宜しくお願いします。また、石井ガバナー補佐におかれましては、2クラブの50周年記念事業にご出席いただくこととなりますが、まずは、4月4日を宜しくお願いします。来週は祝日のため、例会はお休みですので、28日の例会が最後の打ち合わせの場となります。なんとなく気持ちが落ち着きませんが、しっかり打ち合わせをしてお客様をお迎えできるようにしたいと思いますので、宜しくお願い致します。

#### ◆委員会報告

親睦活動委員会より(杉本峰康委員長)

3月20日(木)18:30～ 新会員さんの歓迎会を開催します。会場は、事務局近くの「えびすや本店」で、会費は7千円です。宜しくお願い致します。

#### ◆幹事報告 植松 省自幹事

来週の金曜日21日は、春分の日で休会です。次の3月28日(金)が50周年行事前最後の打ち合わせの場になりますので、是非、全員出席で打ち合わせを出来るようご協力をお願いします。

それから、記念誌掲載の会員コメント提出がまだ10名ほどに留まっています。全員集まらなると、意味がありませんので、ロータリーの思い出など何でも結構です。FAXで事務局宛に送ってください。ご協力を宜しくお願いします。

#### ◆ニコニコボックス報告

##### ≪斎藤 昌雄会長・植松 省自幹事≫

岩山様、和崎様、本日の卓話、宜しくお願い申し上げます。

白鳥パストガバナー、石井ガバナー補佐、ようこそいらっしゃいました。ごゆっくりとお楽しみ下さい。

##### ≪吉田 隆之会員≫

JFEスチールの岩山総務部長、和崎副課長、ようこそいらっしゃいました。本日の卓話、楽しみにしております。宜しくお願い致します。

##### ≪植松 省自幹事≫

女性会員の皆様に男性会員の総意で細やかながら、ホワイトデーのプレゼントを用意しました。

本日のニコニコボックス	4,000 円	累計	613,000 円
金の箱	1,810 円	累計	24,578 円

#### ◆出席報告(会員数49名)

出席者数30	欠席者数19	ピンター 4	修正出席率 76.09%
--------	--------	--------	--------------

千葉市内例会変更のご案内 [メーキャップにご利用下さい。](#)

千葉RC	月	4/14・4/28	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	4/8・4/15	センシティブター「東天紅」
千葉幕張RC	火	4/8・4/22	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	4/2・4/16・4/30	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	4/2・4/23	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	4/3	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	4/24	京成ホテルミラマーレ

## 本日の卓話

演 題⇒『地域との共生について』

卓話者⇒ JFEスチール(株)東日本製鉄所(千葉地区)

総務部長 岩山 眞士様



今日、お集まりの皆様には川鉄と紹介した方がお分かりいただき易いのではないかと思います。JFEは、川崎製鉄と日本鋼管が10年以上前に統合して出来た会社です。JFEのJは「ジャパン」、Fは鉄の元素記号「Fe」、

Eは日本鋼管を主体に橋梁などのエンジニア部門があるので「エンジニア」から来ています。JFEホールディングス株式会社が持ち株会社で、中核会社はJFEスチール株式会社です。JFEエンジニアリング株式会社、JFE商事株式会社、ジャパンマリンユナイテッドという南極観測船「しらせ」など船を作る会社などでJFEグループを構成しています。JFEスチールの製造拠点は、東日本製鉄所と西日本製鉄所の大きく分けて2拠点があり、東日本は川鉄千葉と日本鋼管川崎の京浜地区が一体運営しています。西日本は川鉄倉敷と日本鋼管福山が一体運営しています。規模は、西日本が高炉6基、東日本が高炉2基です。

世界の製鉄会社ランキングで、JFEスチールは第9位の粗鋼生産量になっています。昨年合併した、新日鉄住金さんは第2位となっています。他を見るとベスト10はほとんど中国の会社になっています。

鉄の埋蔵量は、1兆5千億トンと、分かっているだけで1000年以上の埋蔵量がある資源で、年間22億トンほど産出しています。鉄は産業の優等生で、値段比較ですが1g当たり0.05円です。米のコシヒカリが0.6円、チタンや炭素繊維や金ははるかに高くなっています。飛行機は鉄から炭素繊維に切り替わっていきっていますが先の価格比較では90倍になります。また、炭素繊維は軽さに優れていますが硬くてもろく、飛行機は対衝突をあまり想定していないのでこれで良いのですが、車には衝突時に人を守る衝撃への柔軟性が求められるので安くしなやかな性質がある鉄が合うことになります。

鉄は、世界で7億トン～8億トンと一定の生産量を長い間維持していましたが、2000年過ぎから急激に増加しています。国別で生産量を伸ばしているのが中国です。1年の増加量が、日本の1年間の生産量に匹敵するほどの規模で伸びており、現在は中国だけで年間7～8億トン、世界生産量の約半分が中国で生産されています。ただ、中国の生産品は建設資材などの汎用品で車用など的高額製品は生産していません。また、中国には約800の製鉄会社があり需要と供給を考えずに生産しています。地方政府が雇用と税収を確保するために、中央政府の統制を聞かずに稼働している状況です。その結果、製品が東南アジアにあふれてダンピングで汎用品価格が下がり、高級鋼価格も引きずられて下がっています。

一方、鉄の原料である鉄鉱石は上位3社で6割、燃料の石炭は上位5社で6割を占めていて、売り手の力が強くそこに中国が大量購入するため大幅な原料高になっていま

す。最近少し沈静化してきているとは言え、日本のメーカーは、その他のコスト削減等で製品価格を抑える努力をしています。

千葉に話を戻すと、千葉地区で9千人(川崎地区を含めると18千人)が働いています。昭和30年代は4万人働いていましたから、労働生産性は4.5倍に上がったことになり。敷地は、ディズニーランド約10個、敷地の端から端までタクシーで移動すると約2千円の勘定です。

次は、鉄の生産工程です。溶鉱炉に鉄鉱石と石炭、不純物を取り除くための石灰石を入れて1,200℃の熱風で溶かすと、原料に対して6割の鉄が出来ます。残り4割は、スラブと呼び道路の路盤材やセメントの材料になります。この溶けた鉄に酸素を吹き込んで脱炭してその他の成分を混ぜ純粋な鋼にして、薄く延ばして巻き取りコイルにして行きます。

千葉の製品は、自動車のボディや家電、スチール缶などの高級薄板鋼に特化しています。自動車メーカーからの要求は、丈夫で軽くて加工しやすい製品という宿題が出ていますが、プレス時は加工しやすく、焼付け塗装をすると丈夫になる製品を納めており、これこそ日本のオンリーワン技術と言えます。他に手で千切れる薄さの板や、ホッカイロ用の鉄粉なども作っています。

千葉に進出して63年目、進出する1年前に川崎重工から独立した会社です。1951年に千葉市の誘致で、初代社長の西山弥太郎が進出を決断して、当時の千葉市一般会計予算が5億円の時代に200億円を投資し、2年後に生産を開始しました。

日本は、世界一生産時のエネルギー効率が高いことも誇れる技術です。また、発生した熱を回収して自家発電も行っており54万kWの発電所を製鉄所構内に所有しています。他に、東京ガスからガスを購入し、東京電力に発電した電気を供給する事業も行っております。

次は、地域とのふれあいです。地元の各種行事に年間約100回参加している他、年に1回お祭りを開催して地域から神輿も出していただき約4万人にお越しいただいたり、ジェフさんと共催でサッカー大会を開いたり、千葉市と協力して千葉地域外からも含めた工場見学を誘致しています。また、自分から外に出向いていく活動として、小学校の出前授業を、去年は10校実施し、今年は中央区の19校全部でやりたいと考えています。その他に地域の公園清掃や、地元中学生を対象に職場体験受け入れも一昨年から実施しています。また、公式野球部を持っており、オフには少年野球の指導も行っています。

最後に、前社長の「数土丈夫」次期東京電力社長から社員に対して「経営とは変化に対する終わりのない戦いである」という言葉と古典で「百聞は一見に如かず。百見は一考に如かず。百考は一行に如かず。」計画したらすぐ行動を求められ、みんな頑張っております。

(文責 永安 重治会員)

### 第2444回例会

《創立50周年記念式典打合せ》

日時⇒ 平成26年3月28日(金) 点鐘12:30

場所⇒ オークラ千葉ホテル

